

## あとがき

第1巻で傷寒・温病の外感病を扱ったのに続き、第2巻である本書では《医学衷中参西録》の中核である内傷雑病をとりあげた。神戸中医学研究会で本書の重要性をはじめに注目し、実際に使用してその有用性を認識し翻訳を指示されたのは伊藤良会長である。これを受けて翻訳は池尻研治が行い、すでに鬼籍に入られた森雄材・竹原直秀・浜田富三雄をはじめ、巻頭に名簿を記載した現在の本会メンバーで活発な討論を行い、啓発を受けてこれをまとめたのが本シリーズである。第3巻では教育者としての張錫純の姿がうかがえる書簡なども含みさらに興味は尽きない。

神戸中医学研究会